

いってみっけ。海と山の、イイとやま。

2022

春夏号

うみとやま

TOYAMA FREE PAPER

2022.SPRING-SUMMER

特集「ワクワク、ドキドキ。乗りものでめぐる富山旅。」



ゆったり景色を見ながら
穏やかな運河をクルーズ!

春から運航を開始する富岩水上ライン。春は桜、夏は新緑など、四季折々の景色が楽しめる。2019年に就航した新艇「kansui」、流線形のモダンな船体が美しい「fugan」、グリーン色の船体のソーラー旅客船「sora」、レッドの船体の可愛い電気ボート「もみじ」の4艇体制で運航している。

MORE INFO

詳しく知りたい方はこちらへ
本誌は「うみやま」ウェブ版と連動しています。
ページで紹介している各エリアの詳細記事は
下の二次元バーコードからお読みいただけます。



豚々と、とやま
Nature is actual nature there.

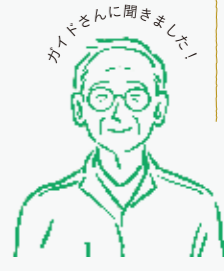
自然の雄大さを感じながら、小さな出会いのある旅案内

ワクワク、ドキドキ。

乗りものでめぐる富山旅。

海と山、そして街。富山をめぐるなら「乗りもの」が欠かせません。乗りものは目的地までの移動時間を楽しみたくしていただけるだけでなく、新たな発見や刺激を与えてくれたり、これまで見たことない景色の中に連れていかけてくれたり…。旅のワクワクやドキドキを演出してくれる特別な存在です。今回は、春から夏にかけて行きたい、乗りものを使った富山旅へご案内。雄大な自然と心ときめく小さな出会いが、あなたを待っています。

富山の旅をより楽しんでもらえるように、クルーズ中は地元ガイドが富山の自然や食の紹介をしています。乗船場のある環水公園周辺や岩瀬エリアは、飲食店も多い人気のエリアですよ!



富岩水上ライン ガイド/
清水 宏之さん



運河沿いでノンビリ
昼寝も気持ちいい〜

富岩水上ライン TOYAMA AREA



水辺空間を近くに感じながら ゆったり運河クルーズ

富岩運河を囲むように広がる富岩運河環水公園。周辺には美術館やカフェ、レストランなどもあり、富山に来たら押さえておきたい定番観光スポットの一つ。園内にある乗降場から船に乗り込んで向かうのは、北前船の寄港地として栄えた岩瀬エリア。クルーズの見どころは「水のエレベーター」を体感できる「中島開門」。ゆったりとしたクルーズで、富山の穏やかな日常を感じよう。



世界一美しいと称される「スターバックスコーヒー」や、フレンチレストラン「ラ・シャンス」などがある富岩運河環水公園。公園のシンボル・天門橋を背景にクルーズがスタート



1. 富山県美術館

アートと美食のまちを満喫

- 「アートとデザインをつなぐ」がコンセプト。ピカソ、シャガールといった20世紀美術の巨匠たちの作品から、ポスターや椅子などのデザイン作品も鑑賞できる
- レースガラスを得意とするガラス作家・安田泰三さんのギャラリー。テーブルウェアやオブジェなど、思わず見惚れてしまう作品が並ぶ
- 富山の食材を使ったメニューが楽しめるカフェ。中島開門のユニークな動きを再現した「中島開門カレー」(1,000円)は、富岩水上ラインを体験したあとにいただきたい

※ 1.は富岩運河環水公園周辺、2,3.は岩瀬エリア



2. Taizo Glass Gallery



3. MUROYA

水のきらめき、うるおい



ライトアップの演出に
うっとり・・・

ライトアップされた夜桜と、桜をイメージした園内イルミネーションが幻想的。夏には富山の海をイメージしたライトアップも



レトロな旧タイプの船で
味があってステキ

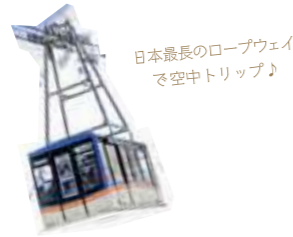
富岩運河沿いには約5kmにわたり、ソメイヨシノやコシノヒガンザクラなど約500本の桜が咲き誇る

立山黒部アルペンルート TATEYAMA AREA

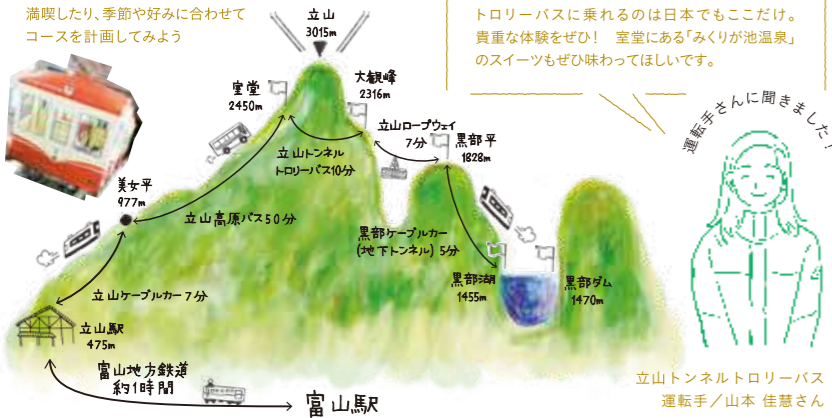


乗りものを乗り継いで、雲上の別天地へ

標高3,000m級の峰々が連なる北アルプスを貫く、世界有数の山岳観光ルート。360度のパノラマを展望できるロープウェイ、立山直下を貫通したトンネルを走るトロリーバス、全線地下式のケーブルカーなど、特徴的な乗りものを乗り継いで向かった先に、心ときめく景色が待っている。四季折々の見どころもたくさん。体力に自信がない人も、気軽に山岳観光へ出かけよう。



1〜2時間の散策を楽しんだり、登山を楽しんだり、宿泊して雲上を満喫したり、季節や好みに合わせてコースを計画してみよう



1. 湖面がハート型に見える立山室堂のシンボル「みくりが池」。4〜5月は雪にすっぽり覆われ、6月頃に美しいエメラルドグリーンの湖面が顔を出し始める 2. 高さ20mにも迫る巨大な雪の壁「雪の大谷」は4月中旬〜6月中旬に見られる 3. 初夏からは高山植物が咲き誇る 4. 日本一の高さを誇る「黒部ダム」の観光放水も必見

黒部峡谷トロッコ電車 KUROBE AREA

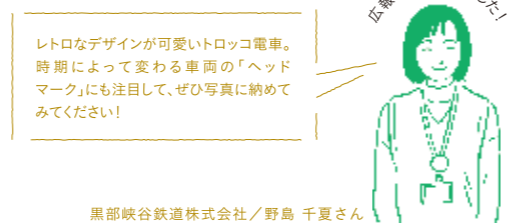


レトロなトロッコに揺られて 非日常の幸せに出会う

日本でも有数の深さを誇る黒部峡谷。かつて発電所建設のためにつくられたトロッコが、現在は観光列車として活躍中。車窓から見る手つかずの大自然に、日本の美しさを再確認できるはず。トロッコの各駅には温泉があり、途中下車して名湯めぐりをするのもおすすめ。野生動物を見つたり、自然と共存する建築物に思いを馳せたり、秘境で小さな幸せを見つけてみて。



1. トロッコ電車で大自然を駆け抜ける 2. 峡谷の秘湯「黒滝温泉」の大露天風呂「源泉(いずみ)」 3. 「河原展望台」からはダイナミックな黒部川を一望できる 4. 人を飲み込むかのような姿をしている「人喰岩」



富山もようトレインが運行開始

富山地方鉄道が企画したラッピング電車「富山もようトレイン」。「富山もよう」とは、豊かな自然や文化といった地元の魅力をビジュアル化したデザインで、人気テキストデザイナーの鈴木マサル氏が手がけた全13種類がある。そのうち今回選ばれたのは、富山の鳥島・ライチョウがモチーフのデザイン。街中や田園風景を駆け抜ける赤い列車を見かけたらいいことあるかも?



電鉄富山駅から「富山もようトレイン」に乗って、立山駅や宇奈月温泉駅を目指そう!

運行区間やダイヤは固定していないので、出合えたらラッキー

乗りものに揺られて、海へ、山へ、街へ。

寒い冬が終わりを告げ、富山に心弾むシーズンが到来。暖かな日差しに包まれた富山平野には桜やチューリップが咲き誇り、春の富山をカラフルに彩ります。富山湾では深海に棲むホタルイカやシロエビが水揚げされはじめ、海岸線の向こうには蟹気楼がゆらめきます。山では立山黒部アルペンルートが開通し、黒部峡谷トロッコ電車も運行がスタート。四季折々のダイナミックな大自然をお目当てに、多くの観光客が訪れます。

東京駅から北陸新幹線で約2時間10分。富山駅に降り立つと、たくさんの乗りものが迎えてくれます。富山県を代表する観光地を結ぶ富山地方鉄道や、富岩運河をクルーズする富岩水上ラインなど。旅気分を盛り上げてくれる個性豊かな乗りものに乗り、海へ、山へ、街へ。心ときめく富山の景色へ出かけましょう。



ベル・モンターニュ・エ・メール HIMI・TAKAOKA AREA



美しい富山の 景色もごちそう 海沿いを走るギャラリー

「べるもんた」の車内で館を握っています。富山湾を眺めながら、富山湾でとれた魚をいただく贅沢を味わってください。利酒師が厳選した、富山の地酒の飲み比べもおすすめです!

「美しい山と海」をフランス語で表現した観光列車、通称「べるもんた」。品格あるモスグリーンの列車に一歩足を踏み入ると、沿線の伝統工芸品「井波彫刻」の装飾や「高岡銅器」をイメージした吊り革などが車内を彩っており、まるでギャラリーを訪れたかのような気分。海沿いの線路を走って向かうのは、港町として知られる氷見エリア。額縁風にデザインされた車窓から、絵画のような海の絶景を堪能して。



観光列車の目的地も おいしいグルメがいっぱい

1. 氷見漁港近くにあるシーフードバー「サカナとサウナ SEAFOOD STAND」。昼はサンドイッチ、夜は氷見でとれた魚を使ったアラカトとお酒を楽しめる
2. 沿線にある道の駅「雨晴」のテラスやカフェで一休みするのも◎。晴れた日には富山湾越しに立山連峰が一望できる

とやま館 副店長/安中 準さん



はっとするよ、とやま

You can find a superb Craftspersonship there.



風土と人の手が生む「越中瀬戸焼」

北アルプスの裾野に広がる立山町の瀬戸地区では、430年以上前から焼きものづくりが行われてきました。「越中瀬戸焼」と呼ばれる伝統の焼きものは、現在6人の作り手によって守られ、次代に継がれようとしています。

ウェブ記事で詳しくみる



越中陶の里 陶農館 ETCHU-SUENOSATO TOUNOUKAN

予約 陶芸体験は要予約 Tel.076-462-3929 (9:00~16:00)

自分の手で、旅のおみやげづくり

「陶農館」は越中瀬戸の土を使って陶芸体験ができる施設。体験に使う陶土は、スタッフが採掘して精製したものです。焼きものの表面にかける釉薬は10種類から選ぶことができ、越中瀬戸の土ならではの穏やかな焼き上がりに心が癒される。仕上がりは1ヵ月後以降。手元に届いたときに楽しかった旅の思い出がよみがえってくるはず。

土地の恵みを生かし
自分と向き合って
作品をつくる。

越中瀬戸焼は430年以上続く、富山を代表する焼きものです。尾張瀬戸（愛知県）から陶工が招かれ、立山町に窯を築いて瀬戸焼を作ったことが始まりとされています。尾張瀬戸の陶工がここに窯を築いたのは、焼きものに適した良質な陶土が豊富に採れることに理由がありました。越中瀬戸焼の作家は、今も先人のやり方を守り、地元で採掘した土を使って、各々が制作に励んでいます。

手かけるのは土だけではなく、電気やガス窯以外に、登り窯や穴窯など伝統的な薪窯で焼成を続けているのも特徴のひとつです。薪窯で焼成した作品は、窯の中で降った灰がかかるなどし、豊かな景色が生まれます。

2011年に越中瀬戸焼の作家で結成された「かなくれ会」には、現在6人の作家が所属しており、展示やイベントなどを通して、越中瀬戸焼や立山の魅力を伝えています。「かなくれ」とは越中瀬戸で「陶片」を意味する言葉。一人ひとりの作り手が、自然や風土、そして自分と向き合っ



FLAT COFFEE フラットコーヒー

Tel.080-4252-7351 (10:00~17:00)

口当たりの良さを、立山町のコーヒー店で実感

釋永陽さんのカップで、コーヒーやカフェラテを提供している。陽さんの作る越中瀬戸焼の器は、口当たりが柔らかく、コーヒーをマイルドに感じさせてくれるそう。お店には、形の異なる3タイプのカップがある。



Cuisine régionale L'évo レヴォ

予約 Tel.0763-68-2115

抹茶碗でいただく、炊きたての白ごはん

朝食でご飯を盛るのに「庄楽窯」の釋永由紀夫さんの抹茶碗を使用。面取りで立山連峰の山並みが表現された器は、手にしたときに心が動いたことからシェフが直々に選んだもの。地の恵みたっぷりの朝食をご堪能あれ。



日々の器から茶陶まで幅広く

「越中瀬戸 千寿窯」の展示室。毎日の食卓で使いたい器から茶道具まで、さまざまな作品が並び



越中瀬戸 千寿窯 ETCHU-SETO SENJUGAMA

予約 展示室の見学は要事前予約 Tel.076-463-1774(9:00~16:00)

自然の恵みを作品にする

越中瀬戸焼の窯元のひとつ「越中瀬戸 千寿窯」の吉野香岳さんは、二代前にあたる祖父が山から採ってきた土を使って作陶を続けている。「白っぽい土は茶道具、黄みがかった土は食器類、赤土は白化粧の器のように使い分けています」と話し、作品に合わせた土選びをしている。山から掘り出した土は、木の根っこやクズなどがまざった状態なので、土から不純物の一つひとつ取り除き、精製して粘土にするそう。釉薬も自然由来の素材にこだわり、稲藁や樹木の灰を使って手作りしている。土地の恵みを生かした作品を手にとってみよう。



左が精製した白土、右は不純物が混ざった原土

富山の玄関口・JR富山駅の周辺には、富山の食と酒を堪能できる飲食店が多数立ち並んでいます。「吟チロリ」は、大衆酒場を思わせるカジュアルな雰囲気ながらも、料理は本格派。「いいものをなるべく安く食べてもらいたい」との思いで提供する「刺身盛り」は、お客様の9割が注文するほど人気。

西の拠点・高岡には、15時からの昼呑みが楽しめる名店「旬菜亭 夢さき」があります。朝獲れの刺身や一品料理をはじめ、富山の旬にこだわった料理が約70種類。中でもお店の代表メニューは、店主お手製のます寿し。富山伝統の味を居酒屋で食すのも粋な楽しみ方でしょう。

県東部、盛気楼の見える街として知られる魚津市にあるツウ好みの居酒屋「和創作 五十嵐」では、通年で楽しめる絶品おでんが人気。玉子やだいこんなどの定番のほか、はまぐりやうなぎ、真白子など(季節限定)、変わり種も揃います。

富山の「おいしい」を知り尽くすには、居酒屋巡りが一番賢い選択かもしれません。

おいしい！が
すべて詰まった
居酒屋を巡ろう。



吟チロリ(富山市) / 1. 富山県産のシロエビを殻付きで揚げた「白えび天ぷら」(680円)。衣はサクサク、中はフワフワの食感に、思わず箸が止まらなくなりそう 2. 新湊漁港で水揚げされた「紅ズワイ蟹」(時節・季節限定)は、日本酒にもよく合う。出汁ベースのカニ酢で召し上がれ 3. 富山湾でとれた水タコの吸盤を刻み、すり身に混ぜて揚げた「地だこのすり身揚」(300円)。タコのコリコリとした食感が楽しい。シンプルで上品な味わいなので、どんなお酒とも相性が良い 旬菜亭 夢さき (高岡市) / 4. 香ばしく、食べごたえのある「がめ海老の塩焼き」(650円)は、ぜひ北陸の地酒とともに 5. コリコリの食感がクセになる新鮮な「バイ貝の刺身」(850円)。串焼きも名物の一品 6. 肉厚でジューシーな身がたまらない「ます寿し」(1,000円)。お手製の「焼きさば寿し」、「穴子寿し」も人気 和創作 五十嵐 (魚津市) / 7. 身がしっかりとした「はまぐりのおでん」(500円)。他では味わえない変わり種もこのお店ならではの楽しみ 8. 「おでん盛り合わせ」(1,100円)。定番から季節のものまで、具のレパートリーは幅広い。出汁がしっかり沁みたま上品な味 9. 地元産・鮮度バツグンの「富山の幸盛り合わせ」(時価)。この日は、ポタン海老、シロエビ、バイ貝のお造り。季節の旬を堪能できる



カウンターで楽しむ、富山の食と酒

その土地のことが知りたいなら地元の居酒屋に行くのが一番。仕事終わりのサラリーマンや常連のお客さんとカウンターで肩を並べて、富山の食と酒を楽しんでみませんか？今回は、富山・高岡・魚津の3エリアから厳選した居酒屋で食べられる逸品料理をご紹介します。とれたて新鮮な地元の魚介類を使った郷土料理と地酒を味わいながら、富山の日常や食文化を感じてみて。



美味しさも、鮮度もばつぐん。

富山湾で水揚げされた季節の魚を味わえる「刺身盛り」(2人前1,500円)



吟チロリで、カジュアルに富山の食を満喫

富山駅から徒歩5分ほどの場所にある「吟チロリ」。毎日来てても飽きないお店がコンセプトだけあって、料理もお酒も種類豊富でリーズナブル。富山ならではのメニューもたくさん目移りしてしまいが、注文時に店員さんが今日のおすすめを教えてくれるので安心。地の酒と地の肴を思う存分味わおう。

まめ知識 テストに出ない!!

飲食店200件以上！魚津の「柿の木割り」とは？

「柿の木割り」とは魚津駅前飲食店街の愛称。魚津は遠洋漁業が盛んな漁師町で、一昔前は漁師たちが大金をもって飲み歩き、街を賑わせていたそう。その名残で今も飲み屋を中心に飲食店が多くあり、その数は200件以上にも及びます。魚津ではご酒するのも楽しいかも？

食材の宝庫である魚津。海の幸だけでなく、お米や果物など山の幸にも恵まれています。魚津でグルメと自然を満喫してくださいね！

説明者 嶋亮之介 魚津市観光協会

とやまのチューリップイベント



300品種300万本のチューリップ

春の富山の風物詩の一つに数えられるイベント。毎年人気の大花壇の地上絵など、見応えのある展示がたくさん。

2022となみチューリップフェア

会場：砺波チューリップ公園（砺波市花園町1-32）と周辺施設
開催日程：4月22日（金）～5月5日（木・祝）



チューリップ・桜・菜の花・山々の共演

北アルプスの山々を背景に、ソメイヨシノ、菜の花、チューリップが見頃を迎え、美しい景色の四重奏が広がる。

あさひ舟川「春の四重奏」

会場：朝日町舟川べり一帯
開催日程：4月上旬～中旬 ※開花時期により変更の場合あり



一面に広がるチューリップ畑を無料開放

雄大な北アルプスを背景に、彩り豊かなチューリップが咲き誇る。ウエルカムイベントなどの催しも予定。

にゅうぜんフラワーロード2022

会場：入善町中央公園西側一帯（入善町上野2400）
開催日程：4月9日～4月下旬 ※開花時期により変更の場合あり



「チューリップ四季彩館」では、一年中満開のチューリップと季節の花々が楽しめる。チューリップの栽培方法や歴史、球根内部の秘密も紹介



チューリップモチーフのお土産がかわいい



砺波はチューリップの町。あちこちにチューリップがモチーフの構造物がある。また砺波駅近くの「河合菓子舗」の籠中では、お土産にぴったり（三色もなか／1個 180円）



そよそよと春風が吹く
チューリップの咲く町へ

世界に響く、とやま

There is a tradition resonating with the world.

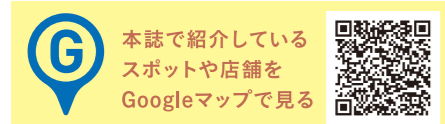
富山はチューリップの球根出荷量日本一を誇り、チューリップが県花に選ばれています。なかでも県の南西部にある砺波では、栽培が100年以上続けられてきました。美しく可憐なチューリップと、富山を結ぶストーリーを紹介します。



TOYAMA MAP

本誌で紹介している場所はここに

- 01 富岩運河環水公園周辺
- 02 岩瀬エリア
- 03 氷見エリア
- 04 高岡エリア
- 05 立山エリア
- 06 黒部エリア
- 07 越中瀬戸焼 千寿窯
- 08 越中陶の里 陶農館
- 09 Cuisine régionale L'évo
- 10 FLAT COFFEE
- 11 吟子ロリ
- 12 旬菜亭 夢さき
- 13 和創作 五十嵐
- 14 砺波エリア
- 15 あさひ舟川「春の四重奏」
- 16 にゅうぜんフラワーロード2022



陽気に誘われて
彩り豊かに咲き誇る
春の主役に会いに
砺波へお出かけ。

春の砺波は色とりどりのチューリップの絨毯が広がります。これらのチューリップは球根栽培のために育てられているもの。富山は全国一のチューリップ球根の産地で、栽培農家の4割以上が砺波にあります。

砺波でのチューリップ栽培は、100年以上前に水野豊造が10球あまりの球根を植えたことで始まりました。当時、積雪期間の長い砺波平野は稲以外に適する作物がないと考えられていましたが、庄川扇状地の水はけの良い土壌と豊かな雪解け水がチューリップの球根栽培にとっては最良の環境だったのです。

冬は雪のおかげで地中の温度と湿度が一定に保たれ、春は晴天率が高く日照量が多いという球根生育の好条件も重なり、水田裏作として発展していきました。

県内ではこれまでに約200品種のチューリップが生み出され、2021年に砺波チューリップ公園に完成した新チューリップタワーも富山のオリジナル品種の「黄小町」「白雲」「とやまレッド」がモチーフです。春の陽気に誘われて、チューリップが咲き競う砺波へ出かけましょう。

私の部屋にもチューリップ

遠くにいながら富山を感じる
部屋にチューリップを飾ろう

チューリップは花が開くと鮮やかに色づき、涼しい場所ですぐに水に浸かる葉を事前に落とすこと。茎が伸びて曲がってきたら、短くカットも良いけれど、穂の上など高いところに飾ってみると新たな一面が見られるかも。



茎を切って花丈を揃わせたり、葉っぱを広げて垂らしたりしながらバランスを整え。



高さが15～20cmの花器が飾りやすい。何種類もの色を組み合わせるのもおすすめ。



砺波や高岡のハウスで育ったチューリップを、12月～3月にかけて入荷している。



たっぷり水を吸うので、毎日新しい水を入れてください。つぼみから花が咲いて散るまでの表情の移り変わりを楽しみましょう。



SPOT

1.国の重要有形・無形民俗文化財「御車山」を間近で鑑賞 2.「イケメン」との呼び名高い、高岡の象徴「高岡大仏」 3.大仏様を望みながら「amida coffee」でコーヒーブレイク 4.職が並ぶ商業施設「山町ヴァレー」は個性的なお店がたくさん 5.高岡市の最も古い町「金屋町」。石畳を歩き風情を楽しんで



体験

すずがみ作り体験

伝統工芸士直伝！金づちを使って、折り紙のように自由に形が変えられる金属「すずがみ」を制作。模様をつけて、自分だけのオリジナルすずがみを完成させよう。会場は国の重要有形・無形民俗文化財に指定されている「御車山」を展示する、高岡御車山会館。すずがみ体験後は、解説付きで館内見学もできる。

TAKAOKA
*
高岡
エリア

徒歩でめぐる

伝統文化とものづくりを体験する高岡コース

ウェブ記事で詳しくみる



伝統的な文化やものづくりが根づく高岡市の中心部には、重要文化財に指定される歴史的建造物が多数健在。風情ある町並みを形成している。コンパクトにさまざまな体験を堪能できるのが魅力だ。江戸時代に築かれた城下町を堪能しつつ、鎗物などの伝統工芸に触れながら、ホッと息を古き良き文化を、じっくり歩いて感じてみよう。

Schedule

- 11:00 高岡御車山会館で①すずがみ作り体験
- 11:30 ②高岡御車山会館を見学
- 12:00 ③高岡大仏を見学
- 13:00 ④amida coffeeでひと休み
- 14:00 ⑤山町ヴァレーでお買い物
- 15:00 ⑥金屋町を散策

本プランは VISIT 富山県で購入できます



SPOT

1.四季折々の大自然が織りなす庄川峡ショートクルーズ 2.巨大水車が目印の「庄川ウッドプラザ」でひと休み 3.農家レストランで砺波の伝統料理を堪能 4.地産地消の健康的な郷土料理が並ぶ大門の伝承料理「恋蔵」 5.光と花のアトリエ「チューリップ四季彩館」

TONAMI
*
砺波
エリア

車でめぐる

雄大な自然と花をめぐり、砺波コース

ウェブ記事で詳しくみる



富山県の南西部に位置する砺波市。庄川と散居が織りなす花と緑のまちとして知られる自然豊かな地域。全国有数のチューリップの産地でもあり、毎年春には国内最大級の「花の祭典」となみチューリップフェア」が開催される。四季折々の美しい大自然や伝承料理を楽しみながら、砺波の魅力に触れてみよう。

遊覧船

庄川峡ショートクルーズ



大自然に囲まれた美しい絶景の中を進む「庄川峡遊覧船」。庄川峡の小牧ダムから長崎橋までを往復する約 25 分間の水上散歩が楽しめる。春夏は新緑、秋は紅葉、冬は雪景色の四季折々の景色を眺めると、まるで自分が大自然の一部になったような不思議な感覚に。雄大な自然が魅せる非日常を味わってみよう。

Schedule

- 10:10 ①庄川遊覧船のりば集合
- 10:20 ②庄川峡ショートクルーズ (約 25 分)
- 10:45 庄川遊覧船のりば到着
- 11:00 ③庄川ウッドプラザでお買い物
- 12:00 ④農家レストラン 大門でランチ
- 13:10 ⑤チューリップ四季彩館を見学

本プランは VISIT 富山県で購入できます



SPOT

1.「ホテル黒部」で温泉に料理と至福の時間を味わって 2.温泉街の玄関口は温泉噴水が目印 3.「宇奈月-くろへ食へ歩きクーポン」を使ってカフェモーツァルトでスイーツ休憩 4.どの部屋からも峡谷の四季とトロコ電車を楽しめる 5.見学・試飲・買い物まで、黒部の名水をつかった宇奈月地ビールを存分に堪能 6.黒部峡谷トロコ電車で大自然を全身で体感



UNAZUKI
*
宇奈月
エリア

車でめぐる

豊かな自然と名湯にひたる宇奈月コース

ウェブ記事で詳しくみる



美しい水と大地に恵まれた黒部市。なかでも宇奈月エリアは、県内最大の温泉地で、地ビールや黒部峡谷トロコ電車などでも知られる。グルメはもちろん買い物、温泉、自然体験まで旅の醍醐味をふんだんに詰め込んだ1泊2日。情緒あふれる温泉街で、日本有数の透明度を誇る名湯と豊かな自然を肌で感じてみよう。

Schedule

- 1日目**
- 10:00 ①宇奈月美術館を見学
- 13:00 ②③宇奈月温泉街を散策
- 15:00 ④⑤ホテル黒部にチェックイン
- 2日目**
- 10:00 ホテル黒部をチェックアウト
- 10:30 宇奈月駅到着
- 10:44 ⑥黒部峡谷トロコ電車に乗車

本プランは VISIT 富山県で購入できます



SPOT

1.街のシンボルとして親しまれている市民の憩いの場 2.薬都・富山の文化を体験・購入できる老舗薬問屋 3.立山あおく特等席「呉羽山公園展望台」で絶景を堪能 4.北前船交易で栄えたノスタルジックな美しい港町 5.富岩運河のシンボル・国指定重要文化財「中島開門」 6.富山市観光で人気の高い緑美しい水辺空間

TOYAMA CITY
*
富山
エリア

車でめぐる

歴史と豊かな自然にひたる富山コース

ウェブ記事で詳しくみる



富山県の玄関口、富山市。雄大な立山連峰を望む自然豊かなこの街は、古くから「薬のまち」として有名。江戸から明治にかけて、北前船交易の寄港地として栄えた岩瀬エリアにも立ち寄り、質の高いおもてなしが評判の「おもてなし優良タクシー」「ドライパー」と一緒に、歴史や自然に触れながら人気の観光スポットを楽しもう。

Schedule

- 10:00 富山駅(新幹線中央改札口)集合
- 10:10 ①富山城址公園を散策
- 10:40 ②池田屋安兵衛商店を見学
- 11:15 ③呉羽山展望台から富山を一望
- 11:50 ④岩瀬エリアを散策
- 12:30 ⑤中島開門を見学
- 12:35 ⑥富岩運河環水公園を散策
- 14:15 富岩水上ラインでクルーズ
- 15:40 富山駅到着

本プランは VISIT 富山県で購入できます



とやまのお土産を当てよう!

SNS Present Campaign

プレゼントキャンペーン

TwitterもしくはInstagramアカウント(@umitoyama.jp)をフォローし、該当のキャンペーン投稿を【リツイート(Twitter)】または【いいね(Instagram)】&今号掲載箇所で行ってみたいスポットをコメントしてくれた方々の中から、抽選で「とやまのお土産」をお届け! (5月10日締切)

1 100%! チューリップの香りを愉しむ

チューリップのお香立 ※お香3本付 (能作) 3名



2 機能性 & デザイン性! うちわで涼を感じる

自立するうちわ -solanoソラノ GARASU/MIZU (富山もよう×ナガエ) いずれか1点 3名



3 酒器・花器にも! 越中瀬戸の土でつくった片口

陶農館のうつわ片口 (越中陶の里 陶農館) 2名



4 醸造用のぶどうを贅沢に使用! 100%ジュース

Ten Drops MERLOT/ テンドロップス メルロー (Domaine Beau) 2名



詳しくは⇒ 

うみやま公式SNS



誌面には載りきらなかった富山の観光情報など、画像と共に発信しています。ぜひご覧ください。



木・林 KIRIN



桜とレモンが、特にオススメ

648円

素朴でオトナな和風メレンゲ。口に入れた瞬間ふわっと広がるほのかな香りが、住宅育ちの僕に昔懐かしい古き良き田舎の風景を思い出させてくれます。カリッ「ああ・・・、こころも昔は全部田んぼだったなあ(多分)」。コリッ「ひいばあちゃんに、よく叱られたっけなあ・・・(会ったことないけど)」。そんな、誰もがプチエモーショナルな郷愁を味わえる五郎丸の『きりん』は、おいしくて・小さくて・日持ちが良くて・可愛くて・軽いという「お土産にあつたらいいな」の5原則(自分調べ)を全て持っているんだから、迷わずマストバイね!

薄水本舗 五郎丸屋 小矢部市中央町5-5 / 0766-67-0039

「うみやま」ウェブ版はこちら!



新しい旅のエチケット

感染リスクを減らせて安心して楽しい旅

ひとり一人の協力が、みんなの楽しい旅を守ります

新しい旅のエチケットはこちら▶

「もっと知る? ちょっとディープな富山のモノ&コト」

ここは、映画のまち!

映になる富山

富山県内各所 × 牛首村

「美しい風景が恐怖を掻き立てる」

富山県魚津市の山あいにある旧「坪野鉦泉」。「恐怖の村」シリーズ第3弾となる今作、監督が舞台として選んだのがこの「北陸最恐の心霊スポット」だった。

旧「坪野鉦泉」は、無断立ち入りや破壊行為などが長年の問題となっていた。そのためロケの打診をした当初、地元は反対意見一色。しかしイメージアップや防犯強化を前提に交渉を重ねてロケが実現。「映画をきっかけに町を変えていきたい」という地元の人の思いが、この映画の背景にある。

ほかにも雨晴海岸や魚津駅、海の駅歴気楼など、富山の有名な観光スポットが登場。富山に来たらロケ地めぐり、実際の美しい風景と、映画のシーンを見比べてみては。

ロケ地マップ配布中! 詳しくはウェブコラムへ。



©2022「牛首村」製作委員会
全国ロードショー絶賛公開中! / 監督 清水崇 主演 Koki

今号の表紙から振り返る編集後記

COVER PHOTO STORY



「チューリップ四季彩館」のパレットガーデンにて 越中瀬戸焼の山田智子さんの作品「白い鉢」(6,600円) ※陶農館で販売(1点もの)

◆富山の風土を伝える、器と花
今号の表紙は、越中瀬戸焼の器と富山県花のチューリップ。「白い鉢」をつくったのは、取材時に陶芸体験の手ほどきもしてくれた山田智子さん。「かなづくれ会」作家さんの作品は、「越中陶の里陶農館」でも手に取る事ができるので、じっくりと選んだお気に入りの、ぜひお土産にもう一枚は、丁寧な温度管理と技術でチューリップが一年中咲き続ける、世界で唯一の施設「チューリップ四季彩館」カラフルでアートの空間に心躍ること間違いなし!

撮影 京角真裕
1974年富山県生まれ。2010年「空耳カメラ」設立。WEBや雑誌、広告などの撮影に携わる。自身のスタイルや映像作品の撮影や発表も継続的に行う。

最近HOTな地元人



里山にはお宝がいっぱい!

里山マウンテンバイクツーリズム実行委員会代表 佐藤 将貴さん さとう まさき

山道もラクラク
♥電動アシスト機能がついたe-MTBで里山を駆け抜ける
「立山連峰だけじゃない、小さな里山の魅力を伝えたい」と、毎日たった一人で木を伐り、道を整え、荒れ果てた里山に約2キロの道を開拓。地域の見どころをe-MTBでめぐるコースとして活用し、里山の楽しさを発信中! 一棟貸しの古民家宿「壱の家」の支配人も務める佐藤さんの案内で、あなたも立山町のとりこに♥

里山マウンテンバイクツーリズム satoyama-tourism.com / 壱の家(のいえ) nonoie.jp

富山の酒 ニューウェーブ

TOYAMA SAKE / NEW WAVE



Domaine Beau
セシボン ブティ・ヴェルド&カベルネ・ソーヴィニオン2020
価格: 2,970円
問: トレボー株式会社
Tel: 0763-77-4639
tresbeau.co.jp

「ドメヌ・ポー」とはフランス語で「美しいワイナリー」を意味する。その名の通りワイナリーのある南砺市立野原地区は、美しい自然に囲まれた広大な丘陵地帯。葡萄畑の周辺は農作物栽培も盛んで、秋になると植物が黄金に染まることから「コート・ドール」とも呼ばれる。

ここで本格的なワイン造りがはじまったのは2020年。高岡市で約45年間酒屋を営んだ中山社長が、社会貢献しながら長く愛されるワイナリーをつくるべく立ち上げた。できる限り自然に近いワイン造りを志し、葡萄の減農薬栽培に取り組みとともに、IoTやAIの最先端技術を導入していることも特徴だ。農業を科学することで100年先も、2000年先も持続可能なワイナリーを目指す。

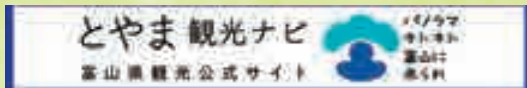
全6種類のワインはどれもバランスがとれた味わいで、身体にすっと染み込むような心地よさを感じる。若樹ならではのフレッシュさもあり、時を重ねるとともに変わるであろう味わいも楽しみだ。ワインは醸造所兼ショップで購入できる。

新世代ワイナリーが造る美しくバランスの良いワイン
Domaine Beau (ドメヌ・ポー)



富山県の観光情報は「とやま観光ナビ」をチェック

富山県観光公式サイト「とやま観光ナビ」で富山県内の旬のグルメやイベント情報、地元ライターがおすすめするスポットなどを発信しています。ぜひとやま旅行の参考にチェックしてみてくださいね。



最新の観光情報・イベント情報はこちら。
富山県観光公式サイト【とやま観光ナビ】
<http://www.info-toyama.com/>

富山県へのアクセス



※新型コロナウイルス感染症等の影響により運休等している場合があります。

※所要時間に変動がある場合があります。

電車でお越しの方は

東京駅	北陸新幹線 はくたか 約2時間20分	黒部宇奈月温泉駅
	北陸新幹線 はくたか 約2時間40分	新高岡駅
	北陸新幹線 かがやき 約2時間10分	富山駅
名古屋駅	高山本線 特急ワイドビューひだ 約3時間50分	
	東海道新幹線ひかり～米原駅～北陸本線 特急しらさぎ 北陸新幹線 かがやき 約3時間	
大阪駅	湖西線經由北陸本線 特急サンダーバード 北陸新幹線 つるぎ 約3時間	

飛行機でお越しの方は

東京(羽田空港)	全日空 約1時間	富山ときと空港
札幌(新千歳空港)	全日空 約1時間30分	

お車でお越しの方は

東京	関越自動車道練馬IC・上信越自動車道・北陸自動車道経由 約4時間30分	富山IC
名古屋	東海北陸自動車道一宮IC・北陸自動車道経由 約3時間	
大阪	名神高速道路豊中IC・北陸自動車道経由 約4時間15分	

最新の観光情報・イベント情報はこちら。
富山県観光公式サイト【とやま観光ナビ】
<http://www.info-toyama.com/>

体験やバスツアーなど豊富なツアーが
24時間WEBから申込みOK【VISIT富山県】
<http://visit-town.com/toyama/>

【富山県プロモーション動画】
<https://youtu.be/ruv3MCCDTDQ>

富山県地方創生局 観光振興室 TEL.076-444-3500 富山県観光公式サイト「とやま観光ナビ」
(公社)とやま観光推進機構(観光案内窓口) TEL.076-441-7722 <http://www.info-toyama.com/>

とやま観光ナビ



編集/株式会社北日本新聞開発センター

※乱丁・落丁誌はお取替えいたします。 ※本誌内容の無断転記、記載、複写はご遠慮ください。
※本誌掲載情報は、2022年2月14日現在のものです。ご利用・お出かけの際には、お問い合わせのうえ詳細の確認をおすすめします。

